


みんなの森特別緑地保全地区 ・保全管理計画策定に向けた 現地調査の結果について

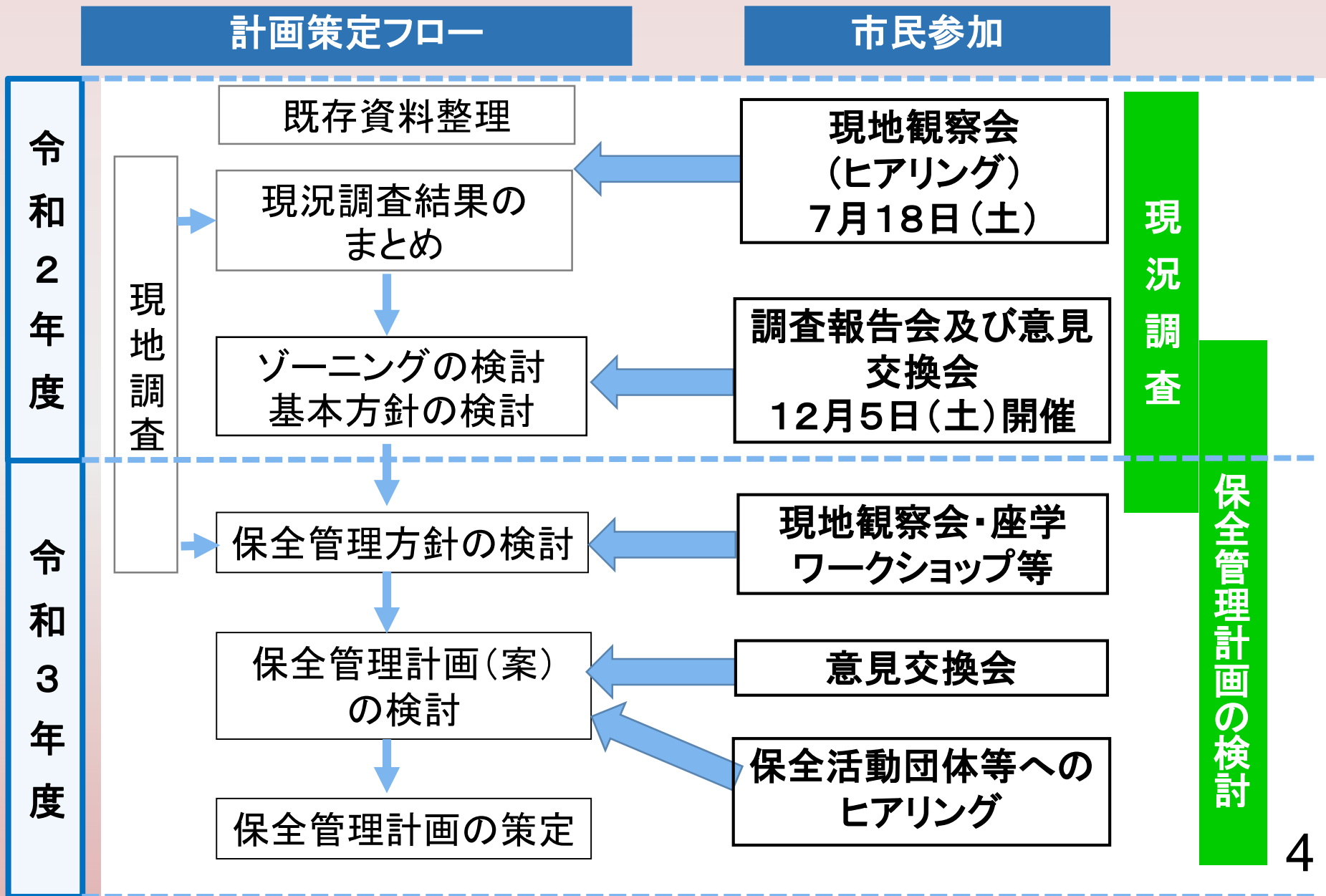


調布市環境部緑と公園課

《保全管理計画の策定状況》



保全管理計画策定の流れ（案）



令和2~3年度 現地調査結果

動植物調査実施日

調査項目		調査日
植物相調査	目視確認	夏 季: 令和2年7月21日(火)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)
		早春季: 令和3年3月4日(木)
		春 季: 令和3年5月1日(土)
哺乳類・爬虫類・両生類調査	目視, フィールドサインの確認	夏 季: 令和2年7月21日(火)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)
		春 季: 令和3年5月1日(土)
	無人撮影の実施	夏 季: 令和2年7月21日(火)～令和2年7月22日(水)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)～令和2年10月3日(土)
		春 季: 令和3年4月30日(金)～令和3年5月1日(土)
鳥類調査	ラインセンサス法	夏 季: 令和2年7月21日(火)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)
		冬 季: 令和2年12月7日(土)
		春 季: 令和3年5月1日(土)
	定点調査法	夏 季: 令和2年7月21日(火)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)
		冬 季: 令和2年12月7日(土)
		春 季: 令和3年5月1日(土)
昆虫類調査	任意採集法	夏 季: 令和2年7月21日(火)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)
		春 季: 令和3年5月1日(土)
	ライトトラップ法	夏 季: 令和2年7月21日(火)
		秋 季: 令和2年10月1日(木)
		春 季: 令和3年4月30日(金)～令和3年5月1日(土)
	ベイトトラップ法	夏 季: 令和2年7月21日(火)～令和2年7月22日(水)
		秋 季: 令和2年10月2日(金)～令和2年10月3日(土)
		春 季: 令和3年4月30日(金)～令和3年5月1日(土)

動植物調査の方法(哺乳類)



フィールドサイン



無人カメラ

動植物調査の方法(昆虫類)



ライトトラップ



ベイトトラップ

動植物調査結果の概要

(調査期間: 令和2年7月～令和3年5月)

調査項目	夏季	秋季	冬季	早春季	春季	調査全体
	(6～7月)	(10月)	(12月)	(3月)	(4～5月)	
植 物	187種	188種	—	94種	174種	274種
哺乳類	2種	1種	—	—	2種	2種
爬虫類	0種	1種	—	—	1種	1種
両生類	0種	0種	—	—	0種	0種
鳥 類	5種	7種	7種	—	8種	10種
昆虫類	79種	44種	—	—	83種	91種
合 計	273種	241種	7種	94種	268種	378種

確認した主な生物



シロテンハナムグリ



ヒメジャノメ



コクワガタ



カシノナガキクイムシ(フラス) 10

動植物調査で確認した注目種

調査項目	確認種数 (種)	確認種
植 物	5	ギンラン, キンラン, ササバギンラン, ノカンゾウ, ホソバヒカゲスゲ
哺乳類	0	
爬虫類	1	ニホンカナヘビ
両生類	0	
鳥 類	0	
昆虫類	1	アカボシゴマダラ(特定外来生物)
合 計	7	

※重要種の選定根拠:「環境省レッドリスト(2020)」,「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～レッドデータブック東京 2013～(地域区分:北多摩)」,「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～レッドデータブック東京 2020～(地域区分:北多摩)」及び「環境省特定外来生物等一覧(最終更新:令和2年11月2日)」

確認した注目種



キンラン



ギンラン



ササバギンラン



ノカンゾウ



ホソバヒカゲスゲ



ニホンカナヘビ



アカボシゴマダラ
(特定外来生物)

相観植生



基本区分	凡例名	略号
森林植生	コナラ群落	a
	先駆低木群落	b
	植栽樹林群	c
草地植生	セイタカアワダチソウ群落	d
	チガヤ群落	e

- ・樹林地のほとんどが、コナラ群落からなる落葉広葉樹林で占められていた。
- ・周縁部分は、植栽樹林群が多く、一部にアカメガシワやハリギリ等の先駆植物の低木からなる群落やチガヤ群落などの草地植生が形成されていた。

相観植生



a:コナラ群落



b:先駆低木群落



c:植栽樹林群落



d:セイタカアワ
ダチソウ群落



e:チガヤ群落

林床植生



凡例名	略号	備考
アズマネザサ 密生型	ア	草刈り管理がされており、アズマネザサが 低茎で密生している
先駆低木・ アズマネザサ型	イ	低茎のアズマネザサ内にアカメガシワなど の先駆的な樹木の低木が混生している
カラスウリ・ アズマネザサ型	ウ	低茎のアズマネザサの上層をカラスウリや オニドコロなどのつる植物が被っている
植栽樹種型	エ	オオムラサキやアジサイ、ヤマブキなどの 植栽樹種が植栽されている
伐採木等堆積型	オ	伐採木や落葉・落枝等が積まれており、植 生がほとんど発達していない
無植生型	カ	園路上であり、踏圧等のために植生が発 達していない

・園路上に区分される無植生型を除くと
アズマネザサ密生型の林床型が多くを
占められていた。

林床植生



ア:アズマネザサ
密生型



イ:先駆低木・
アズマネザサ型



ウ:カラスウリ・
アズマネザサ型



エ:植栽樹種型



オ:伐採木等堆積型



カ:無植生型

現況のまとめ

- 樹林地のほとんどが、コナラ群落からなる落葉広葉樹林で占められていた。
- 周縁部分は、植栽樹林群が多く、一部に先駆植物の低木からなる群落や草地植生が見られた。
- 園路上に区分される無植生型を除くと林床の多くは、アズマネザサ密生型に区分された。
- 注目種は、植物5種、動物2種が確認され、内1種は特定外来生物であった。

ゾーニング(案)



A:樹林保全ゾーン

コナラ群落からなる落葉広葉樹林及び林床の重要種を保全する

B:バッファゾーン

植栽等を利用して、周辺の人工的な環境から樹林の環境へ与える影響を緩和する

C:普及啓発ゾーン

散策や観察等を行う場として、樹林保全について興味や関心を深める

今後のスケジュール（予定）

開催内容	開催予定日
保全管理計画策定に向けた意見交換会（ワークショップ）	令和3年11月21日（日）
保全管理計画（素案）の説明及び意見交換会	令和3年12月19日（日）
保全管理計画（案）の説明会	令和4年1月30日（日）